



## 2024年9月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2024年11月7日

上場会社名 助川電気工業株式会社  
コード番号 7711 URL <https://www.sukegawadenki.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 光俊  
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 深澤 優  
定時株主総会開催予定日 2024年12月19日 配当支払開始予定日 2024年12月20日  
有価証券報告書提出予定日 2024年12月20日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 0293-23-6411

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期の業績(2023年10月1日～2024年9月30日)

#### (1) 経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年9月期	4,964	8.5	916	55.4	916	53.6	637	60.4
2023年9月期	4,577	5.7	589	32.5	596	27.3	397	22.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2024年9月期	115.68		16.5	13.7	18.5
2023年9月期	71.37		11.1	9.2	12.9

(参考) 持分法投資損益 2024年9月期 百万円 2023年9月期 百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2024年9月期	7,038	4,219	59.9	765.04
2023年9月期	6,351	3,521	55.4	638.51

(参考) 自己資本 2024年9月期 4,219百万円 2023年9月期 3,521百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	217	96	344	229
2023年9月期	65	34	750	453

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2024年9月期		14.00		15.00	29.00	159	40.6	4.5
2025年9月期		16.00		18.00	34.00	187	29.4	4.8
2025年9月期(予想)		18.00		18.00	36.00		33.7	

### 3. 2025年9月期の業績予想(2024年10月1日～2025年9月30日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	2,530	4.5	441	27.7	443	27.5	310	28.2	56.21
通期	5,060	1.9	836	8.8	843	8.0	590	7.5	106.98

## 注記事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

### (2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期	5,870,000 株	2023年9月期	5,870,000 株
期末自己株式数	2024年9月期	355,067 株	2023年9月期	355,067 株
期中平均株式数	2024年9月期	5,514,933 株	2023年9月期	5,573,850 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	8
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等の注記) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14
4. その他 .....	15
(1) 生産、受注及び売上の状況 .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、景気は緩やかな持ち直しの動きがみられるものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や中東をめぐる情勢の悪化、円安等を起因とするエネルギー・資源・原材料価格の高騰、物価の上昇、世界的な金融市場の変動等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当事業年度は、当社のコア技術を生かし、シーズ型の熱電対・ヒーター・信号ケーブル等の製品を、半導体製造装置、液晶・有機EL等のFPD製造装置及び各種プラント向け製品等広範囲にわたり拡販すること、並びに電磁ポンプを軸とする各種溶融金属機器の充実を図り、エネルギー関連事業においては核融合関連製品等、産業システム関連事業においてはアルミ給湯・鋳造用電磁ポンプの受注確保に注力してまいりました。

この結果、産業システム関連事業において半導体・FPD製造装置関連が、まだ調整段階から抜け出せない状況が続きましたが、エネルギー関連事業は、受注・売上とも順調に推移したことにより売上高は、49億6千4百万円（前年同期比8.5%増）となりました。利益面におきましては、人員配置最適化等による生産効率向上そして予算の未消化等もあり、営業利益は9億1千6百万円（同55.4%増）、経常利益は9億1千6百万円（同53.6%増）、当期純利益は6億3千7百万円（同60.4%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

エネルギー関連事業におきましては、原子力関係において原子力発電所の再稼働に向けた関連製品や研究機関向け製品、核融合関連製品についてはリチウム鉛ループ等の研究機関向け核融合関連が増加したことにより、売上高は22億2千7百万円（同34.2%増）、セグメント利益（営業利益）は7億5百万円（同97.4%増）となりました。

産業システム関連事業におきましては、アルミ用電磁ポンプが大型生産設備に採用されたことや高温対応用の半導体用熱処理炉の増加がありましたが、温度センサー等の半導体製造装置関連製品及びFPD製造装置関連製品が減少したことにより、売上高は26億4千4百万円（同4.1%減）となりました。利益面におきましては、人員配置最適化等による生産効率向上によりセグメント利益（営業利益）は6億2千4百万円（同5.6%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当事業年度末における流動資産は44億1千2百万円となり、前事業年度末に比べ5億7千8百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が2億2千3百万円、売掛金が6千2百万円減少しましたが、進行基準売上に伴う契約資産が9億4千7百万円増加したことによるものであります。固定資産は26億2千6百万円となり、前事業年度末に比べ1億8百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が1億1千9百万円、繰延税金資産が9千3百万円減少しましたが、投資有価証券が3億3千1百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、70億3千8百万円となり、前事業年度に比べ6億8千6百万円増加いたしました。

#### (負債)

当事業年度末における流動負債は16億1千万円となり、前事業年度末に比べ1億6千2百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が1億6千1百万円、1年内償還予定の社債が6千万円増加しましたが、短期借入金が4億円減少したことによるものであります。固定負債は12億9百万円となり、前事業年度末に比べ1億5千1百万円増加いたしました。これは主に社債が1億7千2百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、28億1千9百万円となり、前事業年度に比べ1千万円減少いたしました。

#### (純資産)

当事業年度末における純資産合計は42億1千9百万円となり、前事業年度末に比べ6億9千7百万円増加いたしました。これは主に、当期純利益6億3千7百万円及びその他有価証券評価差額金の増加2億3千万円、剰余金の配当1億7千万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は59.9%（前事業年度は55.4%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ2億2千3百万円減少し、2億2千9百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、2億1千7百万円（前年同期比230.9%増）となりました。これは主に、売上債権の増加8億8千1百万円、法人税等の支払額1億5百万円がありましたが、税引前当期純利益の計上8億9千2百万円、減価償却費1億7千8百万円及び棚卸資産の減少7千6百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は9千6百万円（同183.5%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出9千4百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、3億4千4百万円（同54.1%減）となりました。これは主に、短期借入れによる収入7億5千万円、社債の発行による収入3億円がありましたが、短期借入金の返済による支出11億5千万円、配当金の支払額1億6千9百万円、社債の償還による支出6千8百万円等によるものであります。

（参考） キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期
自己資本比率	56.0	54.9	54.6	55.4	59.9
時価ベースの自己資本比率	62.7	88.1	114.7	107.3	145.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	3.6	2.3	3.2	19.7	5.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ	31.7	49.8	36.4	6.0	13.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ 営業キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、キャッシュ・フローの利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、エネルギー分野において、電力需要の増大及びカーボンニュートラルの観点からGX（グリーントランスフォーメーション）関連による原子力研究関係への期待が大きくなると考えております。また、核融合関係については、日本の研究炉であるJT-60SA増強作業の継続と核融合反応時における熱の取り出しのひとつの方法である液体金属を使用した試験装置の期待が高まっております。

従って今後とも生活の基盤となるエネルギー研究開発関係に注力してまいります。

産業システムにおいては、半導体製造装置関連について当社コア製品であるシーズ熱電対及びシーズヒーターは調整段階から出て戻りつつあります。またパワー半導体向けの高温度熱処理炉についても増加傾向が期待できます。アルミ用電磁ポンプについては、新型電磁ポンプの他、浸漬用のヒーター及び熱電対もラインナップ化し販売強化を図ってまいります。

この激しい時代の変化、経済の変動の中にあっても、着実に業績を維持し、安定した利益還元を継続できるよう「人材育成」、そして全社のベクトルを合わせて経営体質の強化と収益性の向上に努めてまいります。

次期の業績見通しといたしましては、売上高50億6千万円、営業利益8億3千6百万円、経常利益8億4千3百万円、当期純利益5億9千万円と予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を最重要課題の一つとして位置づけており、毎期の業績、財政状態を勘案しつつ、優先的に安定した年2回の剰余金の配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、上記方針のもと、1株当たり前期より3円増配の18円とし、中間配当16円と合わせ、年間配当は前期より5円増配の34円となる見込みであります。

なお、次期の配当につきましては、中間配当を当期より2円増配の18円、期末配当は当期と同額の18円とし、年間配当は当期より2円増配の36円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が低いことから、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	453,658	229,693
受取手形	40,134	11,503
電子記録債権	248,527	273,934
売掛金	995,297	932,324
契約資産	925,250	1,873,242
商品及び製品	177,970	166,833
仕掛品	364,481	329,914
原材料及び貯蔵品	615,611	584,883
前払費用	10,165	8,095
その他	2,894	2,344
流動資産合計	3,833,990	4,412,769
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,664,470	2,661,580
減価償却累計額	△2,063,608	△2,084,407
建物(純額)	600,862	577,172
構築物	243,337	243,482
減価償却累計額	△216,694	△220,036
構築物(純額)	26,643	23,446
機械及び装置	2,351,866	2,340,107
減価償却累計額	△2,121,368	△2,201,490
機械及び装置(純額)	230,498	138,617
車両運搬具	3,867	3,867
減価償却累計額	△3,867	△3,867
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	249,512	248,199
減価償却累計額	△243,369	△243,383
工具、器具及び備品(純額)	6,142	4,816
土地	851,644	849,144
リース資産	61,055	71,560
減価償却累計額	△48,222	△55,541
リース資産(純額)	12,832	16,018
有形固定資産合計	1,728,623	1,609,216
無形固定資産		
借地権	29,919	29,919
ソフトウエア	4,967	1,992
リース資産	1,314	—
無形固定資産合計	36,201	31,911

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
投資その他の資産		
投資有価証券	471,051	803,005
出資金	90	90
長期貸付金	42,000	37,450
長期前払費用	6,997	3,566
保険積立金	105,128	111,595
繰延税金資産	105,421	11,749
その他	22,372	17,512
投資その他の資産合計	753,060	984,968
固定資産合計	2,517,885	2,626,096
資産合計	6,351,876	7,038,865
負債の部		
流動負債		
支払手形	153,306	44,815
電子記録債務	307,558	290,158
買掛金	249,290	355,025
短期借入金	590,000	190,000
1年内償還予定の社債	68,000	128,000
リース債務	5,792	6,141
未払金	26,026	12,023
未払費用	170,919	201,083
未払法人税等	57,874	219,184
未払消費税等	60,193	86,268
契約負債	4,597	—
預り金	2,814	3,459
前受収益	1,364	1,303
賞与引当金	75,240	72,503
設備関係支払手形	—	735
流動負債合計	1,772,978	1,610,702
固定負債		
社債	620,000	792,000
リース債務	9,862	17,578
退職給付引当金	132,473	87,172
役員退職慰労引当金	286,077	307,716
資産除去債務	8,100	4,200
その他	1,066	355
固定負債合計	1,057,578	1,209,022
負債合計	2,830,556	2,819,725



(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	921,100	921,100
資本剰余金		
資本準備金	653,236	653,236
その他資本剰余金	1,317	1,317
資本剰余金合計	654,553	654,553
利益剰余金		
利益準備金	138,000	138,000
その他利益剰余金		
別途積立金	1,350,000	1,350,000
繰越利益剰余金	764,991	1,231,971
利益剰余金合計	2,252,991	2,719,971
自己株式	△457,338	△457,338
株主資本合計	3,371,306	3,838,286
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	150,013	380,853
評価・換算差額等合計	150,013	380,853
純資産合計	3,521,319	4,219,140
負債純資産合計	6,351,876	7,038,865

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,577,128	4,964,940
売上原価		
製品期首棚卸高	39,558	17,167
当期製品製造原価	3,159,635	3,188,533
合計	3,199,193	3,205,700
製品期末棚卸高	17,167	2,994
売上原価合計	3,182,026	3,202,706
売上総利益	1,395,102	1,762,234
販売費及び一般管理費	805,303	845,789
営業利益	589,798	916,444
営業外収益		
受取利息	1,121	1,027
有価証券利息	720	720
受取配当金	7,465	8,827
投資有価証券売却益	561	—
保険解約返戻金	13,130	—
固定資産賃貸料	2,630	2,439
スクラップ売却益	1,240	4,362
その他	5,172	4,921
営業外収益合計	32,042	22,297
営業外費用		
支払利息	8,172	5,388
社債利息	2,893	3,882
社債発行費	4,500	7,350
投資有価証券売却損	8,990	—
固定資産除却損	0	5,236
その他	532	381
営業外費用合計	25,089	22,239
経常利益	596,751	916,502
特別損失		
減損損失	—	23,714
固定資産解体撤去費	33,202	—
特別損失合計	33,202	23,714
税引前当期純利益	563,549	892,787
法人税、住民税及び事業税	137,083	262,284
法人税等調整額	28,639	△7,440
法人税等合計	165,722	254,844
当期純利益	397,826	637,943

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位: 千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	921,100	653,236	1,317	654,553	138,000	1,350,000	526,531	2,014,531
当期変動額								
剰余金の配当							△159,367	△159,367
当期純利益							397,826	397,826
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	238,459	238,459
当期末残高	921,100	653,236	1,317	654,553	138,000	1,350,000	764,991	2,252,991

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△969	3,589,215	52,508	52,508	3,641,724
当期変動額					
剰余金の配当		△159,367			△159,367
当期純利益		397,826			397,826
自己株式の取得	△456,368	△456,368			△456,368
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			97,504	97,504	97,504
当期変動額合計	△456,368	△217,909	97,504	97,504	△120,404
当期末残高	△457,338	3,371,306	150,013	150,013	3,521,319

当事業年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	921,100	653,236	1,317	654,553	138,000	1,350,000	764,991	2,252,991
当期変動額								
剰余金の配当							△170,962	△170,962
当期純利益							637,943	637,943
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	466,980	466,980
当期末残高	921,100	653,236	1,317	654,553	138,000	1,350,000	1,231,971	2,719,971

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△457,338	3,371,306	150,013	150,013	3,521,319
当期変動額					
剰余金の配当		△170,962			△170,962
当期純利益		637,943			637,943
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）			230,840	230,840	230,840
当期変動額合計	-	466,980	230,840	230,840	697,820
当期末残高	△457,338	3,838,286	380,853	380,853	4,219,140

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	563,549	892,787
減価償却費	149,477	178,559
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,350	△2,737
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△55,511	△45,300
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△66,659	21,639
減損損失	—	23,714
受取利息及び受取配当金	△9,307	△10,574
支払利息及び社債利息	11,066	16,620
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△396,394	△881,795
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△82,580	76,432
仕入債務の増減額 (△は減少)	88,126	△20,154
有形固定資産除却損	0	286
投資有価証券売却損益 (△は益)	8,429	—
固定資産解体撤去費	33,202	4,950
契約負債の増減額 (△は減少)	△5,642	△4,597
その他の資産の増減額 (△は増加)	12,056	4,349
その他の負債の増減額 (△は減少)	35,726	74,406
その他	△16,678	△5,551
小計	267,512	323,035
利息及び配当金の受取額	9,308	10,570
利息の支払額	△10,984	△16,413
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△216,829	△105,388
保険金の受取額	13,130	—
その他	3,548	5,551
営業活動によるキャッシュ・フロー	65,685	217,354
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の売却及び償還による収入	56,377	—
有形固定資産の取得による支出	△61,943	△94,618
固定資産撤去に伴う支出	△33,202	△4,950
無形固定資産の取得による支出	△267	△1,360
貸付けによる支出	—	△600
貸付金の回収による収入	5,000	5,030
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,034	△96,498
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,450,000	750,000
短期借入金の返済による支出	△1,550,000	△1,150,000
社債の発行による収入	200,000	300,000
社債の償還による支出	△228,000	△68,000
配当金の支払額	△157,834	△169,117
自己株式の取得による支出	△456,368	—
その他	△8,255	△7,704
財務活動によるキャッシュ・フロー	△750,459	△344,821
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△718,808	△223,965
現金及び現金同等物の期首残高	1,172,466	453,658
現金及び現金同等物の期末残高	453,658	229,693

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、受注別の包括的事業戦略を立案可能な管理体制とし、事業活動を展開しており「エネルギー関連」、「産業システム関連」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの概要は次のとおりであります。

- (1) エネルギー関連……………主要な製品は、研究機関の安全性確認試験装置等の試験研究設備、原子力・火力発電所の温度制御関係装置に使用されています。
- (2) 産業システム関連……………主要な製品は、鉄鋼・自動車・半導体・液晶等の製造装置の「熱と計測」に関する部分に広く使用されております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	財務諸表 計上額 (注) 3
	エネルギー 関連	産業 システム 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,659,244	2,758,348	4,417,592	159,536	4,577,128	—	4,577,128
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,659,244	2,758,348	4,417,592	159,536	4,577,128	—	4,577,128
セグメント利益又は損失 (△)	357,253	590,760	948,014	△3,457	944,557	△354,758	589,798
セグメント資産	2,001,772	3,196,875	5,198,648	66,895	5,265,543	1,086,332	6,351,876
その他の項目							
減価償却費	54,616	83,643	138,259	968	139,228	10,249	149,477
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	47,454	93,717	141,171	450	141,621	5,550	147,171

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店の経営等を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△354,758千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額、その他の項目の減価償却費の調整額は全社資産に係るものであります。

3 セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当事業年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	財務諸表 計上額 (注) 3
	エネルギー 関連	産業 システム 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,227,134	2,644,010	4,871,145	93,794	4,964,940	—	4,964,940
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,227,134	2,644,010	4,871,145	93,794	4,964,940	—	4,964,940
セグメント利益又は損失 (△)	705,368	624,084	1,329,452	△17,212	1,312,240	△395,795	916,444
セグメント資産	2,598,703	3,192,445	5,791,148	55,881	5,847,029	1,191,836	7,038,865
その他の項目							
減価償却費	66,722	90,402	157,124	10,337	167,461	11,097	178,559
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	28,209	12,018	40,228	30,022	70,250	8,612	78,863

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店の経営等を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失の調整額△395,795千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額、その他の項目の減価償却費の調整額は全社資産に係るものであります。

3 セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり純資産額	638.51円	765.04円
1株当たり当期純利益	71.37円	115.68円

(注) 1 当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	3,521,319	4,219,140
普通株式にかかる純資産額(千円)	3,521,319	4,219,140
貸借対照表の純資産の部の合計額と1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式に係る事業年度末の純資産額との差額(千円)	—	—
普通株式の発行済株式数(株)	5,870,000	5,870,000
普通株式の自己株式数(株)	355,067	355,067
1株当たり純資産額額の算定に用いられた普通株式の数(株)	5,514,933	5,514,933

3 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益金額(千円)	397,826	637,943
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	397,826	637,943
普通株式の期中平均株式数(株)	5,573,850	5,514,933

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。



## 4. その他

## (1) 生産、受注及び売上の状況

## ① 生産実績

当事業年度の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (千円)	前期比 (%)
エネルギー関連	2,243,529	131.7
産業システム関連	2,497,605	82.7
その他	1,422	59.3
合計	4,742,558	100.3

- (注) 1 その他のうち飲食店は記載しておりません。  
2 金額は、販売価格によっております。

## ② 受注実績

当事業年度の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前期比 (%)	受注残高 (千円)	前期比 (%)
エネルギー関連	2,215,555	141.9	1,968,530	99.4
産業システム関連	2,477,543	99.7	1,456,060	89.7
その他	1,422	59.3	—	—
合計	4,694,522	116.0	3,424,590	95.1

- (注) その他のうち飲食店は、一般消費者へ直接販売する飲食事業を行っておりますので、記載しておりません。

## ③ 売上実績

当事業年度の売上実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高 (千円)	前期比 (%)
エネルギー関連	2,227,134	134.2
産業システム関連	2,644,010	95.9
その他	93,794	58.8
合計	4,964,940	108.5

- (注) 主な相手先別の売上実績および当該売上実績に対する割合

相手先	前事業年度		当事業年度	
	売上高 (千円)	割合 (%)	売上高 (千円)	割合 (%)
㈱シンワバネス	927,056	20.3	685,688	13.8